



世界天文年 2009

2009年はイタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け、宇宙への扉を開いた1609年から、400年の節目の年です。国際連合、ユネスコ（国連教育科学文化機関）、国際天文学連合は、この2009年を「世界天文年（International Year of Astronomy：略称 IYA）」と決めました。

本学でも、七夕に合わせて行われたecoナイトと言うイベントの中で、総合情報学部の田邊健茲先生や岡山理科大学天文部による天文関係のイベントも行われました。

ここでは、ガリレオにまつわる図書や、最新の天文写真集をご紹介します。秋の夜長、星を見上げてみてはいかがでしょうか？

～原典を読もう～

- ・**星界の報告：他一編 / ガリレオ・ガリレイ著**；山田慶児，谷泰訳。— 岩波書店，1976。—（岩波文庫）
11号館Aコーナー 440/Ga

原著は1610年刊行。ガリレオが望遠鏡を覗いて見た、月面や銀河・星雲、そして木星の4つの衛星などが図版入りで掲載しています。初めて、人類が望遠鏡で宇宙を観察し記した書物。

- ・**天文対話. 上, 下 / ガリレオ・ガリレイ著**；青木靖三訳。— 岩波書店，1959。—（岩波文庫）
11号館Aコーナー 440/Ga

「コペルニクス思想を公然と擁護するな」と言われたガリレオが、それでも地動説を唱えた書。

～ガリレオの生涯を知ろう～

- ・**ガリレオ：はじめて「宇宙」を見た男 / ジャン=ピエール・モーリ著**；遠藤ゆかり訳。
創元社，2008。—（「知の再発見」双書；140）11号館一般 440.2/Ma

ガリレオが望遠鏡を使って天体を観察し、そして「天文対話」を著し、宗教裁判にかけられるまでを、膨大な図版と写真を使って描いています。

- ・**ローマのガリレオ：天才の栄光と破滅 / W・シーア，M・アルティガス著**；
浜林正夫，柴田知薫子訳。— 大月書店，2005 21号館一般 289.3/Ga

ガリレオは、頑固なキリスト教会と戦ったというイメージがありますが、実際はそんな単純なものではなかった様です。ガリレオとキリスト教会との確執を新しい視点でドラマ風に描いています。